

平成29年度(2017年度)の取組み・スケジュールについて

<平成29年度(2017年度)のポイント>

- ・地域内フィーダー交通の試験運行として1～2地区の実施を目指す
- ・上記試験運行の取組みに合わせ、試験運行のフィーダーにつながる幹線路線の利便性向上、結節点整備の検討を行う
- ・上記試験運行の取組みに合わせ、試験運行の該当地区の地域や関係者による協働の取組みを行う(検討や利用促進活動)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基本方針1 拠点(都市、地域拠点)に繋がる幹線、支線の公共交通ネットワークの形成	事業1 地域ごとの交通システムの再編・導入事業												
	地域内のフィーダー交通※	1～2地区の計画準備	運行計画の作成(システム、路線、サービス水準、事業者の選定)		地域公共交通会議の承認	運行準備(手続き・周知活動)							
	学校再編にあわせた対応※※	土肥小中一貫校(H30.4～)への対応計画の検討							H30.4見直しに向けた手続き、周知				
	幹線路線の利便性向上												
	事業2 中心部における周遊交通の導入事業												
	事業3 拠点における幹線への交通結節点の整備事業												
基本方針2 分かりやすく、使いたいと感じる公共交通づくり(運行の工夫や情報発信等)	事業4 利用しやすい公共交通・魅力向上事業												
	事業5 地域の公共交通維持に向けた協働の仕組みづくり事業												

※地域内のフィーダー化については、地域間を接続する路線(西海岸線、戸田線、天城線、冷川線)へ接続・連携できるよう、路線設定やダイヤ接続の検討が必要となる。これについては、南伊豆・西伊豆地域公共交通網形成計画(H28.3)における取組み【1-1】【1-2】と連携して実施していく。

※学校再編にあわせた対応では、再編計画の内容を十分に関係者に対して説明・周知をし実施していく。土肥小中一貫校の対応については、バス路線のうち西海岸線が関係するため、南伊豆・西伊豆地域公共交通網形成計画(H28.3)における取組み【1-1】と連携して実施していく。